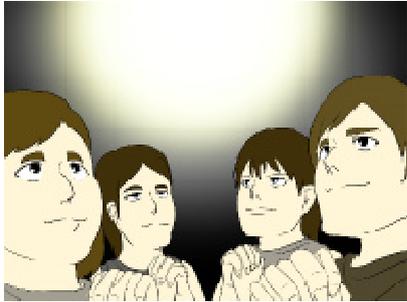


|      |               |
|------|---------------|
| 聖書   | ダニエル1章、6章     |
| タイトル | 一人でも大丈夫（ダニエル） |
| 教案日付 | 2015年11月 1日   |

| 項目 | イラスト  | お話し  |
|----|---|--|
| I  |    | エルサレムの町は、バビロンのネブカデネザル王によって占領されてしまいました。王様は、イスラエル人の中で王族や貴族を数人選んで、バビロンに連れてくるよう命じました。それは、これから3年間勉強して王様に仕える家来にするためです。   |
|    |   | その中には、まことの神様を信じるダニエルと三人の友だちもいました。バビロンの王様は、彼らに自分と同じ食べ物を食べさせようとしていましたが、ダニエルたちはそれを食べませんでした。なぜなら、それは他の神様に捧げられた肉だったり、まことの神様が食べてはならないと言われている食べ物だったりしたからです。ダニエルたちは何があってもまことの神様に従う決意を持っていました。              |
|    |  | そこで、ダニエルたちは、野菜と水だけをとることにしました。でも、神様はダニエルたちを祝福し、健康と特別な力を与えてくださいました。神様は、色々なことを悟ることができる知恵をくださり、ダニエルには全ての幻と夢を解くことのできる力を与えてくださいました。国中で彼らにかなう者は誰もいなかったのです。  |
| II |  | ダニエルは、外国の偶像を拜んでいる国でも、王様の下で一生懸命働きとても良い仕事をしました。神様が特別な知恵をダニエルに与えてくださったのです。また、どんなに忙しくても、毎日決まった時間に三度まことの神様にお祈りすることを忘れることはありませんでした。王様はダニエルをととても信頼して全国を治めさせようとしていました。                                     |
|    |  | ところが、面白くないのは他の大臣たちです。彼らは、ダニエルに神様以外のものを拜ませようとしていました。そこで大臣たちは、王様に言いました。「王様、これから30日間、王様以外のどんなものをも拜んではいけないという法律を作りましょう。もしそれを守らなければ、ライオンの穴に投げ込むのです。」こうして、大臣たちの悪だくみを知らない王様は「それは良い！」と言って、その命令を出してしまったのです。 |

| 項目         | イラスト  | お話し   |
|------------|---|---|
| II<br>c    |    | <p>まことの神様だけ信じるダニエルは、決して他のものを拝むことはありません。彼は、今まで通りまことの神様だけを礼拝したのです。これを聞いて、王様はやっと大臣たちの悪だくみに気がつきました。でも、一度出した命令は取り消すことができません。ダニエルは、ライオンの穴に投げ込まれてしまいました。王様は、心配で一晩中眠ることができませんでした。</p>   |
| III<br>a   |    | <p>ところが、神様はライオンの口をふさいでダニエルを守ってくださったのです！</p>   |
| III<br>b   |   | <p>ダニエルを殺そうとした人々は、反対にライオンの穴に入れられてしまいました。</p>  |
| III<br>c   |  | <p>王様は、国中に手紙を送って「ダニエルの神様こそ本当の神様だ！」と伝えました。</p>   |
| 結論<br>(適用) |  | <p>1. あなたの学校や家庭で神様を信じているのは自分だけという人はいますか？ダニエルは何があっても神様を信じて従っていく決意を持っていました。神様はどんなことがあっても必ずそこから守って救ってくださる力あるお方だと知っていたからです。ダニエルのように神様を信じて従っていきましょう！神様は必ずあなたを守ってくださいます。2. あなたは神様を信じない人たちの中でどのように生活していますか？神様を信じている者らしく歩んでいますか？ダニエルは本当の神様を信じない人々の中でも、神様を信じ、良い行いに努めて王様の信頼を得ることができました。神様を信じて従う人は、この世でも輝いて生きることができます。</p> |